

- 管内 空知管内
- 分類 避難訓練 危険対応能力 防災訓練 その他（ ）
- 教育課程 教科（生活科） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 学校運営協議会が主体となった町や消防署との連携
- 地域との協働による合同防災訓練の実施

## 取組の実際

### ねらい

- 防災について、地域住民とともに学び考える場を設定することにより、地域全体の防災意識を高める。
- 外部講師による講演を通して、日常生活における災害に対する認識を深める。
- 消火訓練や消防署員による救出訓練等の見学を通して、「自分の身は自分で守る」意識の向上を図る。

### 内容

#### 1 地域住民・関係団体等との連携

学校が地域とともに防災について学び考え、地域全体で防災意識を高めることを目的とした合同防災訓練を実施するに当たり、学校運営協議会の「安全地域連携部会」が主体となり、地域住民や町、消防署等と協働体制を構築した。

#### 2 合同防災訓練の実施

##### (1) 外部講師による講演

北海道防災教育アドバイザーを招聘し、地震や台風等の災害に対する認識を深めることをねらいとした講演を児童及び地域住民を対象に行った。

地震のメカニズムや気象災害が発生する際の状況、災害が発生したときの行動等についての説明を受け、参加者は日常生活における災害や避難行動等について認識を深めた。



【防災教育アドバイザーによる講演】

##### (2) 消防署と連携した防災訓練

消防署の協力のもと、災害時における対応や自分自身の安全を守る意識を高めることをねらいとした防災訓練を行った。

消防署員による高所からの救出訓練の見学や、消火器の使い方についての体験、バケツリレーなど、火災発生時における消火活動等の体験を通して、災害時における対応等について理解を深めた。



【消火器による消火活動】



【バケツリレー体験】



【救出訓練の見学】

### 成果と課題

- コミュニティ・スクールの取組を推進したことにより、地域住民・関係団体等のネットワークを活用した防災教育等の充実を図ることができた。
- 児童が様々な場面に応じた危険に対応する資質・能力を身に付けることができるよう、教科横断的な視点による安全教育の指導計画を工夫する必要がある。